「くさきものども」

概要：商店街の裏路地で、謎の集団が集まっていた！それらが去った後残されたのは名状しがたき異臭のみ！貴族様からの依頼を受けて、マスターが納豆を使った新メニュー作ってたなんてとても言えない！！

ハンドアウト

依頼主：商店街の近所の住人

商店街の裏路地に、怪しげな集団が現れる。去った後には謎の異臭が残されている。どうにも不気味なので調査してほしい。

初期証拠カード　「謎の集団」について

記者「あぁ、最近噂になってますよ。なんでも腐ってしまった豆を食べる集団がいるとか……。相当臭いらしいですよ？」

**証拠カード　「腐った豆」を渡して下さい。**

靴磨き「見た！数日前から現れて、奇妙なモノを配って、いくつかの質問をしていくらしい。……俺は匂いがダメで近寄らなかったけどさ。覆面の男だったよ」

　　　　**証拠カード「黒覆面の男」を渡して下さい。**

他「うーん・・こころあたりはないが・・流行には新聞記者が、裏路地には靴磨きが詳しいよ」

証拠カード「腐った豆」について

貴族「ああ！それは納豆とかいう料理で私も食べたいと思ってたんだ！！誰かに軽く頼んだのだが……だれに言ったっけなぁ……？」

**証拠カード「料理依頼」を渡して下さい。**

マスター「あ、それは多分納豆って料理ですね。東方では一般的な物らしいです。貴族様が言ってましたが」

他「腐った豆……？そんなものが食べれるのか？生憎私は料理しないからなぁ・・」

証拠カード「黒覆面の男」について

商人「そういえば……酒場からそんな身なりの男が出てきていたことがなんどかあったな……？マスターの知人だろうか？」

**証拠カード「酒場から出現」を渡して下さい。**

マスター「黒覆面の男……？私のお客様にはいませんね。他の客が怖がりますし」

他　　「うーん……怖いねぇ。なんだってそんなものを付けているのだろうか・・？」

証拠カード「料理依頼」について

マスター「ああ。はい。前に貴族様がウチで飲まれたときに、食べてみたいなぁ。とおっしゃっていたので。しかし、とはいえ……私もあの匂いには……とてもとても」

他「なんだって、私に貴族様が料理を頼むのさ。そういうのは料理ができる人に頼むだろうよ」

証拠カード「酒場から出現」について

マスター「え！？……いや、なんでもないんです！！」

　　　　　解りやすく狼狽えていただけると嬉しいです。

他「うーん……そんな変な客がいるのか？まさかなぁ……」

証拠カード「料理依頼」「酒場から出現」について

マスター「ええ。多分推測どおりにそれは私です。製法を研究中で味見をお願いしてたんですよ。」

　　　　　**真相カード「覆面のわけ」を渡して下さい。**

他「うーん……マスターに聞いてみるのがいんじゃないか？」

「エーシーズ・ハイ」

概要：あの日、助けてくれたのは、貴族だったのさ。彼はその日仮病を装って面倒なパーティーをサボった手前、正直に名乗りでるわけにもいかなかったのだが、ばっちり目撃されてたので観念して自白した。

ハンドアウト

依頼主：とある飛行機乗り

ある曇りの日、方向を見失った自分を助けてくれたあの飛行機乗りはだれだったのか？お礼がしたいのでパイロットを探してきてくれ。唯一の手がかりは機体にあった大きな傷。

初期証拠カード「キズモノ飛行機」について

新聞記者「それってもしかして貴族様のではないですか？まえに飛行機関連の取材で

見せてもらったことがあるのですが、それと同じ機体に思えます」

　　　　　**証拠カード「貴族説」を渡して下さい。**

貴族「さあ、わからないな。傷のある飛行機なんてそこまで珍しいものではないから」

他「うーん……飛行機と言えば貴族様が好きでしたね。かなりの腕らしいですよ。それと、記者は飛行機関係の記事もたまに書いてるみたいですね」

証拠カード「貴族説」について

貴族「言われてみれば、私の飛行機に似ているな。でも、私じゃないよ。あの日は酷い風邪を引いてしまってね。一日中家で寝込んでたさ。おかげで大事なパーティーに出損ねた位だよ」

　　　**証言カード「あの日は病気」を渡して下さい。**

他「まずは貴族に話を聞くべきでは？」

証拠カード　「あの日は病気」について

貴族「まあそういう訳だから、他の人に当たってくれたまえ」

靴磨き「あれ、おかしいなあ。俺はあの日貴族様を外で見たんですが。ちょっとわかりにくい服装でしたが間違いありません。とても健康そうに見えましたよ」

　　　**証拠カード「目撃証言」を渡して下さい。**

マスター「あのパーティーか。そういえば堅苦しくて面倒だから出たくないってぼやいてたなあ。ひょっとすると仮病かもしれんぞ」

記者「おかしいですねえ？間違い無いと思ったんですが」

その他「貴族様が違うとなると、心当たりはありませんね」

証拠カード　「目撃証言」に対して

貴族「しまったなあ。知り合いに見られてたとは。一応軽く変装はしたつもりだったんだが……まあ仕方ない。そう、あれは俺だよ。あの日は堅苦しくて面倒なパーティーに出たくなかったから仮病を使ったんだ」

**真相カード「正体は貴族」を渡して下さい。**

「10年目の浮気？」

概要：結婚十周年を目前にして、最近の夫の行動を不審に思った奥さんから浮気調査の依頼が来た。しかし夫は結婚記念日のための贈り物を作って貰おうと、引退した職人の家を探しまわっていたのだった。

ハンドアウト

依頼主：アニー・ハーカー

夫であるトマス・ハーカーの素行調査を依頼します。以前の夫は仕事と、趣味のカードをやりに酒場に行くこと以外で外出することはなかったのですが、最近外出することが増えました。仕事ではないし、カードにしては頻繁すぎます。結婚してからもうすぐ10年になりますが、こんなことは初めてで、もしかしたら浮気ではないかと思うと不安でたまりません。どうかよろしくお願いします。

初期証拠カード「トマスの浮気疑惑」について

マスター「トマスか。しばらく来てないな。しかし浮気ねえ……あいつがそんなことするとも思えんが。この前会った時は、結婚記念日に妻に贈るものについて相談されたくらいだし。途中で何やら思いついた様に見えたが、何を思いついたかは教えてくれなかったな」

　　　　　**証拠カード「最近会ってない」を渡して下さい。**

商人「トマスか。そう言えばちょっと前に、彼にある指輪職人の居場所を聞かれたな。その職人は10年前にハーカー夫妻の結婚指輪を作った職人で、私とも付き合いがあったんだ。もっとも何年か前に引退してしまって、現在の消息はわからないんだが」

**証拠カード「引退した指輪職人」を渡して下さい。**

証拠カード「引退した指輪職人」について

記者「それなら知ってます。たまたまかどうかは知りませんが、近所に住んでますので。ただ、偏屈な老人で、昔馴染の人としかろくに話をしないみたいで……彼と話がしたければ、商人に仲介を頼むべきでしょうね」

　　　**証拠カード「職人の今」を渡して下さい。**

マスター「指輪職人か。悪いが知らないなあ。トマスも奥さんも、あの指輪はかなり気に入っていたみたいだったが」

靴磨き「ああ、あの頑固な爺さんですか。以前一度か二度くらいは話したことがありますな。確か実家が記者の家のそばだったんで、そっちに帰ったのかも」

その他「いや、知らないな」

証拠カード「職人の今」について

商人「なるほど、ちょっと待ってくれたまえ……（間）……彼に話を聞いたところ、トマスがつい先日彼の家を訪れて、結婚十周年の記念の品の制作を依頼してきたらしい。散々探し回ったらしく、ひどく疲れた様子だったとか。普通なら引き受けないが、その様子を見て特別に引き受けることにしたと言っていたよ。奥さんに黙っていたのは、記念日当日に驚かせたかったからだそうだ」

**真相カード「結婚十周年の記念品」を渡して下さい。**

靴磨き「一、ニ回話をしただけの相手を昔馴染とは言いませんよ。商人に頼んで下さい」

その他「商人に頼んで下さい」